

平成 26 年度事業報告書

平成 27 年 5 月 26 日第 1 回通常理事会承認議決

平成 26 年度

(第 3 事業年度)

# 事業報告

平成 26 年 4 月 1 日から  
平成 27 年 3 月 31 日まで

公益財団法人ソルフェージュスクール

「平成 26 年度事業報告」目次

要 旨	・・・・・・・・・・	1
《事業活動》		
ソルフェージュによる音楽指導及び普及（公益目的事業 1）		
1. ソルフェージュに関する研究及びソルフェージュスクールの運営		
（1）ソルフェージュに関する指導等および各種楽器、声楽等の実技指導		
【週 1 回のレッスン及び年数回の特別講習】	・・・・・・・・・・	2
【月 2 回の合奏のレッスン（室内合奏団のレッスン）】	・・・・・・・・・・	2
【月 1 回のコーラス】【月 2 回のリコーダーのレッスン】	・・・・・・・・・・	3
【春のミュージックキャンプ】	・・・・・・・・・・	3
【夏季合宿】	・・・・・・・・・・	3
【初見大会】	・・・・・・・・・・	5
【大人のための基礎音楽入門】	・・・・・・・・・・	5
（2）ソルフェージュに関する研究、指導者育成及びその普及		
【ソルフェージュスクール演奏会】	・・・・・・・・・・	5
【前期おさらい会】【後期おさらい会】	・・・・・・・・・・	6
【研究会】	・・・・・・・・・・	7
【試演会】	・・・・・・・・・・	8
【講師によるコンサート】	・・・・・・・・・・	8
【海外の専門家（ソルフェージュ研究者等）との国際交流】	・・・・・・・・・・	10
（3）資料収集、出版物刊行及びホームページの充実		
	・・・・・・・・・・	11
2. 音楽ホール、練習室の貸与	・・・・・・・・・・	12
3. ソルフェージュ普及のための一般向け講習会、講演会開催	・・・・・・・・・・	12
《管理部門》		
1. 法人としての諸会議	・・・・・・・・・・	13
2. 公益財団法人の情報公開	・・・・・・・・・・	14
3. 業務執行体制の強化	・・・・・・・・・・	14

## 要旨

公益財団法人として 3 年目に当たり、4 月からの消費税率引上げによる授業料等への影響を懸念したが、種々の努力効果が実り、指導料収入、講習会収入とも、消費税を除いたベースで前年度比微増の収入を確保できた。

事業活動については、ほぼ計画どおり遂行できた。特に社会人を対象とした「大人のための基礎音楽入門」講座（3 カ月コース）を新規に実施したところ、大変な好評を博した。

財政的には引き続き厳しい状況があるので、活動内容の充実及び経費の削減に努め、また篤志家の援助もいただきながら、財政改善に取り組む。

## 《事業活動》

### ソルフェージュによる音楽指導及び普及（公益目的事業 1）

#### 1. ソルフェージュに関する研究及びソルフェージュスクールの運営

当財団の運営するソルフェージュスクールにおいて下記の事業を行った。

##### （1）ソルフェージュに関する指導等及び各種楽器、声楽等の実技指導

音楽教育にとって最も大切なことは、感動する心を養うことであり、それを自然に体得させるために、ソルフェージュスクールでは「ソルフェージュ」することから始める。

当法人が開発したソルフェージュットやリズムカード及び以前フランスで使われていた教本を翻訳・復元した教材を用いて「ソルフェージュ」を指導し、読譜・音感・リズム感・音の記憶・書き取り・室内楽・合奏・合唱その他あらゆる音楽的な訓練によって、正しい音楽の基礎を習得させた。

また、器楽・声楽等の実技指導の充実に努め、さらに年数回の特別講習会を加えて、音楽文化の理解を深めさせつつ、実技を習得させた。

##### 【ソルフェージュ及び各楽器の週 1 回のレッスン及び特別講習】

一般対象（受講生）平均 70 名／月

1 学期	4 月 8 日（火）	～	7 月 23 日（水）
2 学期	9 月 6 日（土）	～	12 月 20 日（土）
3 学期	1 月 10 日（土）	～	3 月 24 日（火）
特別講習	8 月 30 日（土）	及び	8 月 31 日（日）

\* レッスン及び特別講習の曜日、時間は月曜日を除く週 6 日の中から受講生と講師が相談して決めた。原則として、週 1 回のレッスンとし、年間合計で 40 回プラス特別講習 1 回。

\* 受講生は一般から広く募集。受講費は別途入室案内に公開した。

##### 【月 2 回の合奏のレッスン（室内合奏団のレッスン）】

一般対象  
（受講生）平均 10 名／月

成人受講生主体で月 2 回の日曜日、弦楽合奏のレッスンと小グループによる室内楽のレッスンを行った。原則として月 2 回とし年間合計で 22 回。

4 月 20 日、27 日	5 月 18 日、25 日	6 月 8 日、15 日	7 月 6 日、13 日
9 月 14 日、28 日	10 月 5 日、26 日	11 月 2 日、16 日、30 日	
12 月 7 日	2015 年 1 月 11 日、25 日	2 月 8 日、22 日	3 月 1 日、15 日

\* 受講生は一般から広く募集。受講費は別途入室案内に公開した。

**【月 1 回のコースのレッスン】** 一般対象 (受講生) 平均 21 名/月

- \* 成人受講生主体で月 1 回土曜日に行った。
- \* 受講生は一般から広く募集。受講費は別途入室案内に公開した。

**【月 2 回のリコーダーのレッスン】** 一般対象 (受講生) 平均 2 名/月

- \* 成人受講生主体で月 2 回火曜日あるいは木曜日に行った。
- \* 受講生は一般から広く募集。受講費は別途入室案内に公開した。

**【春のミュージックキャンプ】** 一般対象 (受講生) 11 名

4 月 5 日 (土)、4 月 6 日 (日) 2 日間 この法人ホール及び教室

普段の個人レッスンではなかなか取り組めないアンサンブルの経験を積むための 2 日間の講座。受講生で組まれた様々なグループで曲を勉強した。2 日目の最後に発表会コンサートを開催した。

**【夏季合宿】** 一般対象 (受講生) 18 名

8 月 7 日 (木) ~8 月 11 日 (月) 4 泊 5 日 軽井沢ハーモニーハウス

中学生以上を対象として毎年 4 泊 5 日で行う軽井沢での合宿。春のミュージックキャンプより一層深く曲に取り組み、演奏発表を目標にして、2 人のアンサンブルから全員による合奏まで様々な形の曲を勉強した。また食事作りの手伝い、後片付け、宿舎の掃除など生活面の仕事を皆で行うことで親密な雰囲気醸し、音楽の勉強に留まらず、相手への思い遣りなど、アンサンブル、合奏に不可欠な要素を共同生活の中で自然に身に付けられるようにプログラムを組んだ。

■講師陣

- ・弦楽指導 亀井由紀子 (Vn)、妹尾美紀子 (Vn)、林徹也 (Vn, Va)、吉村隆子 (Vc)
- ・管楽指導 山崎孝子 (F1)、古澤裕治 (Cl)
- ・ピアノ指導 大村明子、林さち子

■カリキュラム

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
8/7 (木)	11 時集合大宮から新幹線で軽井沢へ								開講 式	レッスン	夕食	自由練習			
8(金) 9(土)	朝食	レッスン	昼食	自由 時間	レッスン					夕食	自由練習				
10 (日)	朝食	ゲネプロ&練習	昼食	練習 & 会場準備	発表ミニコンサート				バーベキューパーティ						
11 (月)	朝食	清掃、荷造り、昼食など				新幹線で帰京・解散									

■内容

同じレベルの受講生によるクラスを編成し、クラスごとに1時間単位のレッスンを3～4回行った。

弦楽四重奏、ピアノ三重奏、連弾などの小編成のアンサンブルに加え、弦楽合奏、リコーダーアンサンブルなど大編成のものまで幅広く指導し多様な経験をさせた。

<練習曲目>

小組曲 1&3 (ドビュッシー) 2Pf トリオソナタ ハ長調(テレマン) Fl, Vn & Pf  
 ドイツ舞曲(ハイドン) Fl & 2Vn トリオソナタ ホ短調 (テレマン) Fl, Vn & Pf  
 トリオハ長調 第1楽章(クーラウ) 2Fl & Pf トリオ 第1,3楽章 (シュミット) Fl, Cl & Pf  
 弦楽四重奏曲 (ドヴォルザーク) 2Vn, Va, Vc 葦笛の踊り (チャイコフスキー) 3Fl & Pf  
 フルーツ四重奏曲 ハ長調(モーツァルト)Fl, Vn, Va, Vc 弦楽五重奏曲 1番 (ブラームス) 2Vn, 2Va & Vc  
 笛吹きの日(ほか(カステルド))フルートアンサンブル 組曲よりジーク、シャコンヌ(ラモ) 4Vn  
 四季より「秋」(ヴァイマルディ) 歌曲(ヘンデル、ベルゴレージ)  
 弦楽合奏 ピアノ連弾 リコーダーアンサンブル

■軽井沢合宿ミニコンサート 8月10日(日)15時開演 軽井沢ハーモニーハウス (無料)

夏季合宿の成果を参加者全員で発表するコンサート。5日間の合宿でアンサンブルの研鑽を積んだそれぞれのグループが、成果を1つの音楽会としてのプログラムにまとめ、コンサートとして一般に公開演奏し、好評を博した。

[プログラム]

1	チャイコフスキー	「くるみ割り人形」より<葦笛の踊り>	3Fl Pf
2	ハイドン	ドイツ舞曲	Fl Vn Pf
	マクダウエル	野ばらに寄せて	
3	テレマン	トリオソナタ ハ長調 1、2楽章	Fl Vn Pf
4	テレマン	トリオソナタ ホ短調 1、2楽章	Fl Vn Pf
5	ドビュッシー	「小組曲」より<小舟にて>	2Pf
6	クーラウ	三重奏曲 1楽章	2Fl Pf
7	ドヴォルザーク	弦楽四重奏曲<アメリカ>1楽章	2Vn Va Vc
8	モーツァルト	フルート四重奏曲 ハ長調 1楽章	Fl Vn Va Vc
		2楽章	Fl
9	ラモ	「組曲」よりジークとシャコンヌ	4Vn
10	シュミット	トリオによるソナタ 1、3楽章	Fl Cl Pf
11	ブラームス	弦楽五重奏曲 第1番 1楽章	2Vn 2Va Vc
12	ヘンデル	「リナルド」よりレシタティーヴォとアリア Sop	弦楽合奏
		<私を泣かせてください>	
13	ヴァイマルディ	合奏協奏曲「四季」より<秋>1、3楽章	弦楽合奏

**【初見大会】** 一般対象 (受講生) 夏季 10 名、冬季 7 名

小 3 以上を対象とし、初見で演奏する力を養うためのアンサンブルによる 1 日の講座で 7 月と 12 月の 2 回開催した。個々の参加者の実力に合わせて無理なく楽しく初見の体験を積むように指導者が導いた。複数回受講経験者に見られる進歩には顕著なものがあった。

<夏季 7 月 20 日 (日) この法人ホール及び教室>

指導講師：妹尾美紀子、林さち子、林徹也、古澤裕治、吉村隆子

<冬季 12 月 23 日 (火・祝) この法人ホール及び教室>

指導講師：妹尾美紀子、吉村隆子

**【大人のための基礎音楽入門】** 一般対象 (受講生)10 名

成人向けの初級ソルフェージュ講座。ソルフェージュスクールが長年培ってきた教材を基にして、大人が楽しく無理なく音楽の基礎を学ぶことを目的にした講座。今回が初の試みであったが、受講生の反応もよく、好評を博した。

10 月～12 月の 3 か月間 (水曜日) 全 10 回

10 月 15 日、10 月 22 日、10 月 29 日、11 月 5 日、11 月 12 日、11 月 19 日、  
11 月 26 日、12 月 3 日、12 月 10 日、12 月 17 日

**(2) ソルフェージュに関する研究、指導者育成及びその普及**

ソルフェージュの研究の促進及び指導者育成を目的として研究者、指導者及びこれから研究、指導を目指す者、また関心のある一般を対象とした研究発表会、講習会、音楽会等を開催した。いずれも一般に公開した。なお、これら事業内容の具体的な実施の詳細については、毎月の運営委員会で決定した。

**【ソルフェージュスクール演奏会 6 月 29 日 (日) 日本橋公会堂 無料】**

ソルフェージュスクールの受講生全員が、リトミック、室内楽、器楽合奏、弦楽合奏、合唱等のいずれかに出演する、外部のホールで催す年 1 回の定期演奏会。来場者がスクールの教育を大観し、ソルフェージュの教育を理解する重要な機会として位置づけている。

年 1 回、通常は異なる日に受講しているソルフェージュスクールの受講生が一堂に集まり、数回の合同練習を通して普段学習しているソルフェージュスクールでの成果がいかにか活かされるかを体感し、また聴衆前で発表するというプロセスを学んだ。幼児のソルフェージュ及びリトミッククラスのデモンストレーションもあり、これらを一般公開してソルフェージュスクールの教育のあり方を提示した。

<プログラム>

1. ピアノ連弾
  - A 四つのレンドラー (F. シューベルト)  
道化師 (E. ボルディーニ) (受講生 2 名)
  - B 「ペールギュント組曲」より (E. グリーグ)  
朝、ソルヴェイグの歌、アニトラの踊り (受講生 2 名)
2. 室内楽
  - A かすみかくもか (ドイツ民謡)  
メヌエット ト長調 (J.S. バッハ) (受講生 4 名)
  - B 弦楽四重奏曲 Op. 44-2  
第一楽章 Allegro assai appassionato (E. メンデルスゾーン) (受講生 4 名)
3. リトミック A組 (受講生 9 名) B組 (受講生 11 名)  
うた にじ (中川ひろたか)  
マクドナルドおじさん (アメリカ民謡) (受講生 25 名)
4. 器楽合奏 ルネッサンス舞曲集 (T. スサート) (受講生 32 名)  
モール人の踊り、ブランル、ロンド I 「むかし一人の娘がいた」、  
ロンド II、パヴァーヌ「戦い」  
リコーダー (12 名)、フルート (2 名)、クラリネット (1 名)、ヴァイオリン (9 名)、  
チェロ (1 名)、スネアドラム (1 名) トライアングル (1 名)、シンバル (1 名)、  
カスターネット (2 名)、タンバリン (1 名)、コンガ (1 名)
5. 弦楽合奏 「フーガの技法」より (J.S. バッハ) (受講生 16 名)  
ヴァイオリン (10 名)、ヴィオラ (3 名)、チェロ (3 名)
6. 合唱 アンセム～讃美歌集～ (J. ラター)
  1. A Clare Benediction ～清らかな祈り～
  2. I will sing with the spirit～私は魂で歌います～
  3. God be in my head～神は私の知の中に～
  4. The peace of God～神の平和～
  5. Look at the world～世界を見てごらん～

コーラス受講生及びOB 父兄 (21 名) 及び器楽合奏・弦楽合奏出演者+ピアノ 1 名

【前期おさらい会 10月19日(日)当法人ホール】14名出演

【後期おさらい会 2015年3月21日(土・祝)当法人ホール】22名出演

10月と3月の前後期に分けて開く発表会で、器楽、声楽を学ぶソルフェージュスクールの受講生の演奏を一般公開し、本校での教育の特徴を見てもらった。

器楽、声楽を学んでいる受講生(主に個人レッスン)は少なくとも年一回は人前で演奏披露することで、普段とは違う学習と練習を体験する大切な場であり、また生徒同士、父兄、教師にとっては個人レッスンの進捗状況を知る良い機会であった。

また、指導者同士がお互いの生徒の演奏を聴き合い、意見交換をする機会を持つことができ、指導者の育成にも繋がった。

**【研究会 5月23日（金） 2015年2月6日（金）当法人ホール及び教室】**

ソルフェージュ、器楽の教授方法、教本の使い方や生徒への対応の仕方など、時々  
のテーマを設けて講師一同が意見の交換をしてレッスンの質の向上を目指すた  
めの研究会であり、年2回開き一般に公開した。

5月23日（金）「ブルグミュラー25の練習曲 Op.100」演奏法、  
指導法についての研究 講師：林さち子（参加者8名）

ブルグミュラーのこの作品は、ピアノの初級教材として日本で古くから使われ、最もポピュラーな教材のひとつである。その特徴として、1曲ずつ標題がついていてイメージし易いこと、テクニックや音楽的課題が、短い音楽の中に集約されていて、初歩の教材として勉強しやすいこと、全25曲中の調性が調号なしが9曲、調号1つが11曲と、20曲が調号ひとつまでで弾きやすく、なおかつ、長、短調などの配分も良く考えられており、音楽的色彩感あふれる作品になっている。

しかしながら、当時出回っていた標準版は、後に出版された原典版と比較すると、スラー、指使い、標題のフランス語から日本語への訳などにおいて相違があり（中でも、スラーの書き方が標準版と原典版の間で大きな隔たりがある）、作曲者が意図していたものが何であったかを、原典版と他の版とを比較、演奏しながら研究する会をもった。

曲目：アラバスク、子供の集会、狩、シュタイヤーの踊り、バラード、乗馬

内容：作曲者プロフィール、作品の特徴、調整、スラー、フレーズングとアーティキュレーション、指使い、標題の日本語訳

2月6日（金）「弦楽奏法の研究 その2」 講師：林徹也（参加者10名）

音程のトラブルは、ピアノにはない問題であるが、弦楽器演奏では常に、特に上級からプロになっても大きな問題となる。その原因は大きくわけて2つ考えられる。

① 悪い音程で演奏していて、自分が気づかない。

この場合の教育方法は以下のものがある

A) 良い演奏を頻繁に聴く。

B) 半音と全音の違いの認識。これにより、ヴァイオリンの場合、同じ指でおさえる場所が違ってくる。

C) 分散和音の形では 3~4 の音をグループとしてとらえ、全体を和音として聞く。

D) 開放弦を用いて音程をチェックする。

② ポジションの移動

同一ポジション内での音程の問題は指と指との関係（距離）を意識することで覚えることができる。

ヴァイオリンは印がついていないので、音は前の指からの位置関係で取るしかないなので、それを意識して練習すれば容易く覚えられる。

**【試演会 2月15日（日） 当法人ホール】**

講師有志等の独奏或いはアンサンブルによる演奏を聴き合い、日頃教える立場にある者がお互いに具体例をもって意見を述べ合うことで良い研修の機会となった。

(演奏内容) プログラム	
1. ヴィタリー／シャコンヌ	Vn. 糸井みちよ Pf. 林 さち子
2. シューベルト／ソナチネ1番 D dur (1,2楽章)	Vn. 妹尾美紀子 Pf. 大村 明子
3. ピアソラ／タンゴエチュードNo. 4	Cl. 古澤 裕治
4. ヴェツチェイ／悲しきワルツ ピエルネ／カンツォネッタ	Cl. 古澤 裕治 Pf. 込山今日子

**【講師によるコンサート】**

4月と12月に開く講師及びゲスト演奏家を交えての演奏会。

音楽は、ソロだけではなく合奏の楽しさを味わい、音楽の喜びを得るというソルフェージュスクールの目標のひとつを、ソルフェージュスクールの講師が自らの演奏によって、より多くの方へ伝えるためのコンサートである。4月はゲスト演奏家を交えた。

4月は春のコンサート、12月はクリスマスコンサートを開催した。

\* 春のコンサート 4 月 29 日 (火・祝) 当法人ホール (有料)

<プログラム>

パッヘルベル	:	カノン
モーツァルト	:	アイネ・クライネ・ナハトムジーク
ベートーヴェン	:	二重奏曲 ヘ長調 (原曲 クラリネットとファゴットのため) 1. Allegro affettuoso 2. Aria, Larghetto 3. Rondo, Allegretto moderato
岡野貞一	:	朧月夜
シューベルト	:	春の信仰
スカルラッティ	:	すみれ
チャイコフスキー	:	「エフゲニー・オネーギン」より “どこへ、どこへ行ってしまったのか、我が若きお黄金の日々よ”
カルディツロ	:	つれない心 (カタリ・カタリ)
A.L. ウェーバー	:	ピエ イエズ
山田耕作	:	あわて床屋

(演奏講師)

江原陽子 Sop (歌:ソプラノ)	東京芸術大学卒業 本校出身
込山今日子 Pf (ピアノ)	桐朋学園大学短期大学部卒業
林徹也 Va (ヴィオラ)	愛知県立芸術大学で学んだ後アメリカ、ドイツに留学 1977~2008年・ シュトゥットガルト室内管弦楽団首席ヴィオラ奏者 本校出身
古澤裕治 Cl (クラリネット)	桐朋学園大学及びブルーアン音楽院卒業
ソルフェージュスクール室内合奏団	指導: 林徹也

(ゲスト演奏) 大槻孝志氏 (歌:テノール)

ドイツ及びイタリア留学を経て、二期会「エフゲニー・オネーギン」レンスキー、  
新国立劇場「こうもり」アルフレード、日生劇場「夕鶴」与ひょうの他、サイトウ・  
キネン・フェスティバル松本「エリア」「スペードの女王」「サロメ」等でキャリア  
を積む。N響定期「オイディプス王」出演、さらにN響「第九」に急遽外国人歌手の  
代役で登場し絶賛される。二期会会員

ゲスト演奏家のテノールを交えたことで変化に富む楽しい内容となり、聴き手の多くに音楽の  
多彩な喜びを伝えることができた。

**\* クリスマスコンサート 12 月 21 日 (日) 当法人ホール (有料)**

<プログラム>

シューベルト	:	5つのメヌエットと6つのトリオ
ラドミロー	:	クラリネット ソナタ ヘ短調
	:	1. アレグロ 2. アンダンテ 3. 間奏 (アンダンテ) 4. 終曲 (アレグロ)
フォーレ	:	エレジー Op. 24
カザルス	:	鳥の歌
グノー	:	アヴェマリア
ウィリス	:	It came upon a midnight clear (天なる神にはみ栄あれ)
ブリテン	:	キャロルの祭典より この小さなみどり児は
バーナード	:	Winter Wonderland

(演奏講師)

江原陽子 Sop (歌: ソプラノ)	東京芸術大学卒業 本校出身
込山今日子 Pf (ピアノ)	桐朋学園大学短期大学部卒業
古澤裕治 Cl (クラリネット)	桐朋学園大学及びブルーアン音楽院卒業
水野紀子 Pf (ピアノ)	桐朋学園及びデトモルト国立音楽大学卒業
吉村隆子 Vc (チェロ)	ジョージ・ナイクルグ (George Neikrug) に師事 本校出身
ソルフェージュスクール室内合奏団	指導: 林徹也
レ・グルヌイユ	指導: 江原陽子

ピアノ、クラリネット、チェロ、歌とそれぞれに特色なる音色を聴かせるクリスマスにちなんだ曲目で、聴き手は音楽の楽しさを堪能できたと好評であった。

**【海外の専門家 (ソルフェージュ研究者等) との国際交流】 一般対象 (原則として有料)**

夏季に、現在アメリカで活躍中のヴァイオリニスト・亀井由紀子氏を講師として招き講習会を開いた。ソルフェージュスクールで育まれたソルフェージュ音楽教育の成果、恩師ヤッシャ・ハイフェッツから得た技術及び音楽に対する姿勢等をさらに多くの人へ伝えていただいた。

亀井由紀子講習会：8月5日(火) 当法人ホール 受講生3名、聴講生5名

亀井氏はソルフェージュスクール発足時よりソルフェージュ、和声、合奏、室内楽を学び、都立駒場高校音楽科（現、都立芸術高校）卒業後、渡米し、南カリフォルニア大学にて巨匠、ヤッシャ・ハイフェッツに師事、後、彼のアシスタントを務めた。ハイフェッツ、ピアティゴルスキーらとの室内楽演奏をはじめ、アメリカ、ヨーロッパ、日本各地の数多くの室内楽フェスティバルに参加し、現在はサンフランシスコシンフォニーに席をおく傍ら、ソロ、室内楽の演奏、後輩の指導に携わっている。

### (3) 資料収集、出版物刊行及びホームページの充実

ソルフェージュ教育に必要な図書、楽譜、楽器を購入すると共にソルフェージュの普及のため研究成果及び教育内容などの出版を行った。また授業、事業活動及び法人運営資料等についてはホームページに掲載した。ホームページの内容充実と更新を継続して行った。

#### ① ソルフェージュ教育に必要な図書、楽譜等の購入

Romantic Piano Trios for Beginners 1冊

#### ② 機関誌「ソルフェージュスクール新聞」の発行

年1回 300部発行 一般に無料配布

#### ③ ソルフェージュ指導楽譜の発行（教材として使用し、一般に実費配布）

シャセバン1 ￥500－（税抜）12冊

シャセバン2 ￥400－（税抜）1冊

シャセバン3 ￥400－（税抜）0冊

#### ④ ソルフェージュ教育の理念を著した冊子の発行（一般に実費配布）

当財団の設立者たちがソルフェージュ教育の理念について書き残した文書を冊子として発行し、一般への普及を図るために、文書類の整理を昨年度に引き続き行った。

### ⑤ ホームページの充実

ホームページを通じて、幼児、子どものみならず成人とくに年配者に対して、いつからでも音楽を学ぶことはできること、音楽を通して人間として豊かな心を育むことができることを強く訴え、そして、日本の音楽文化を持続させ発展させていく人材を増やしていった。

役員名簿、定款、役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程、各事業報告書及び収支計算書・貸借対照表他並びに各事業計画書及び収支予算書を公開した。

### ⑥ 他のデータシステムとの連携

NOPODAS（非営利法人データシステム）、文部科学省関係法人名鑑及び音楽教育関連データシステム等に登録をして当財団の周知向上を図った。

## 2. 音楽ホール、練習室の貸与

当財団の所有するホール及びピアノの設置された教室（練習室）を、当財団が使用していない時間に、当財団の事業及び公益目的に合致する者に低廉な対価で貸与した。

とくに、音楽学校受験生の使用費用は一般の 2 割引きとして活用を促した。

\* 随時受付、費用は別途料金表に公開した。

## 3. ソルフェージュ普及のための一般向け講習会、講演会開催

一般対象（原則として無料）

**【合奏及び室内楽演奏法】** 原則として月 1 回 当法人ホール

室内楽授業を、原則として月 1 回、一般に無料聴講できるように公開し、合奏及び室内楽の演奏法を習得してもらうと同時にソルフェージュ教育の成果を実感してもらった。

**【講習会・講演会】**

演奏技術のみならず演奏家の逸話、音楽史等々広範囲な内容。

海外の専門家（ソルフェージュ研究者等）との国際交流の場として講習会を開催した。（1 - (2) **【海外の専門家（ソルフェージュ研究者等）との国際交流】**を兼ねた）

《 管理部門 》

1. 法人としての諸会議

定款の規定に基づき、評議員会及び理事会等を開催した。

定時評議員会は 2014 年 6 月に 1 回、通常理事会は 2014 年 5 月及び 2015 年 2 月の 2 回、それぞれ開催した。

【平成 26 年 5 月 19 日 決算監査】

開催場所 : 当財団 2 階会議室

出席等 : 監事 : 出席 2 名

【平成 26 年 5 月 26 日 平成 26 年度 第 1 回通常理事会】

開催方法 : 通常招集

開催場所 : 当財団 2 階会議室

決議事項 : 1. 平成 25 年度事業報告及び決算の承認決議  
2. 平成 25 年度事業報告書等に係る提出書類の承認決議  
3. 投資有価証券入れ替えに伴う基本財産繰り入れ承認決議  
4. 評議員会で選任される理事・監事の推薦候補（案）の承認決議  
5. 平成 26 年度定時評議員会の招集決議

出席等 : 決議に必要な理事の数 3 名、理事 : 出席 6 名、監事 : 出席 2 名

【平成 26 年 6 月 26 日 平成 26 年度 定時評議員会】

開催方法 : 通常招集

開催場所 : 当財団 3 階ホール

決議事項 : 1. 平成 25 年度事業報告及び決算並びに平成 25 年度事業報告書等に係る提出書類の承認決議の件

2. 当評議員会で任期満了となる理事を選任する件

報告事項 : 基本財産の一部で理事長決済により国債を購入した件

出席等 : 決議に必要な評議員の数 3 名、評議員 : 出席 5 名、欠席 1 名

監事 : 出席 2 名、理事 : 出席 6 名

【平成 26 年 6 月 26 日 平成 26 年度 臨時理事会】

開催方法 : 通常招集

開催場所 : 当財団 3 階ホール

決議事項 : 1. 平成 25 年度事業報告及び決算並びに平成 25 年度事業報告書等に係る提出書類の承認決議の件

2. 当評議員会で任期満了となる理事を選任する件

## 平成 26 年度事業報告書

報告事項 : 基本財産の一部で理事長決済により国債を購入した件  
出席等 : 決議に必要な理事の数 4 名、理事 : 出席 7 名、監事 : 出席 2 名

### 【平成 27 年 2 月 4 日 平成 26 年度第 2 回通常理事会】

開催方法 : 通常招集  
開催場所 : 当財団 2 階会議室  
決議事項 : 1. 平成 26 年度補正予算承認決議  
2. 平成 27 年度事業計画の承認決議  
3. 「役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程」改正の承認決議  
4. 常勤理事報酬改定の承認決議  
5. 平成 27 年度収支予算の承認決議  
出席等 : 決議に必要な理事の数 4 名、理事 : 出席 7 名、監事 : 出席 2 名

また、一週間に一度の業務会議及び一ヶ月に一度の運営委員会において、業務の検討及び執行の確認等を協議し、ソルフェージュによる音楽指導及び普及（公益目的事業 1）を進めた。また、後援会運営委員会を年 2 回に開き、後援会役員と意見を交換し、当スクールの保護者と運営理事及び受付事務の交流を深めた。

## 2. 公益財団法人の情報公開

役員名簿、定款、役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程、平成 24 年度から 27 年度の事業計画書及び収支予算書、平成 23 年度から 25 年度の事業報告書、平成 24 年度及び 25 年度の財務諸表等を web サイトで情報公開した。平成 26 年度の事業報告及び財務諸表については、定時評議員会で承認議決後に公開予定である。また、当法人内に情報公開の対象とする資料を置き、それらを「情報公開規程」に基づき公開している。

## 3. 業務執行体制の強化

代表理事 2 名、業務執行理事 1 名、理事 3 名に新たに理事 1 名を追加して、合計 7 名の理事によって業務執行体制を強化し、評議員、監事、職員と共にそれぞれの業務を真摯に遂行した。